

令和元年度大阪府調査の結果について

(子どもの貧困関連項目抜粋)

1 調査の概要について

■調査結果概要について

「大阪府子ども総合計画」の中間見直しにかかる調査の結果より、子どもの貧困に関連する項目を抜粋して集計を実施

■調査の手法

インターネット調査

■調査時期

令和元年6月

■対象

- ①就学前の子どもをもつ保護者
大阪府内 2,100人

- ②就学後から18歳までの子どもをもつ保護者
大阪府内 1,200人

2-1 受けている手当や援助等について

●就学前

	受けている (%)	受けたこと がある (%)	受けたこと がない (%)
児童手当	94.9	1.2	3.9
就学援助費	3.9	1.9	94.2
児童扶養手当	6.1	1.6	92.3
障がいや難病の手当	1.8	0.9	97.4
生活保護	0.3	0.6	99.1
公的年金(老齢年金)	1.2	0.2	98.6
公的年金(遺族年金、障 がい年金)	0.5	0.5	99.0
雇用保険(失業保険)	4.3	19.9	75.9
養育費	1.4	1.0	97.5
親・親族からの仕送り	2.2	7.4	90.4
退職金	1.1	15.0	83.9
その他、株式配当などの 副収入	10.4	6.5	83.1

●就学後

	受けている (%)	受けたこと がある (%)	受けたこと がない (%)
児童手当	66.3	23.2	10.6
就学援助費	9.3	7.9	82.8
児童扶養手当	5.9	3.3	90.8
障がいや難病の手当	3.8	1.2	95.0
生活保護	0.8	0.8	98.5
公的年金(老齢年金)	2.0	0.4	97.6
公的年金(遺族年金、障 がい年金)	1.8	0.7	97.6
雇用保険(失業保険)	1.3	20.3	78.4
養育費	1.4	1.4	97.2
親・親族からの仕送り	0.9	7.0	92.1
退職金	1.1	17.7	81.3
その他、株式配当などの 副収入	13.3	10.9	75.8

2-2 昨年1年間の家計の収支状況

● 就学前、就学後とも赤字家計の世帯は約4分の1で、昨年1年間の収入は400～500万円未満の層が最も多い。

●就学前

昨年1年間の家計の収支状況	割合(%)
黒字である(貯蓄できている)	44.1
赤字である (預貯金のとりくずし・金融機関からの借入等により支出を賅っている)	23.0
赤字でもなく黒字でもない	25.0
わからない	7.9

昨年1年間の収入	割合(%)	昨年1年間の収入	割合(%)
100万円未満	2.2	700-800万円未満	9.0
100-200万円未満	3.4	800-900万円未満	6.8
200-300万円未満	7.0	900-1,000万円未満	4.4
300-400万円未満	14.0	1,000-1,200万円未満	4.0
400-500万円未満	17.8	1,200-1,500万円未満	1.7
500-600万円未満	15.6	1,500万円以上	1.7
600-700万円未満	12.4		

世帯員数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人～
割合(%)	1.3	44.0	39.0	11.4	3.1	0.9	0.2

●就学後

昨年1年間の家計の収支状況	割合(%)
黒字である(貯蓄できている)	40.0
赤字である (預貯金のとりくずし・金融機関からの借入等により支出を賅っている)	25.3
赤字でもなく黒字でもない	24.1
わからない	10.6

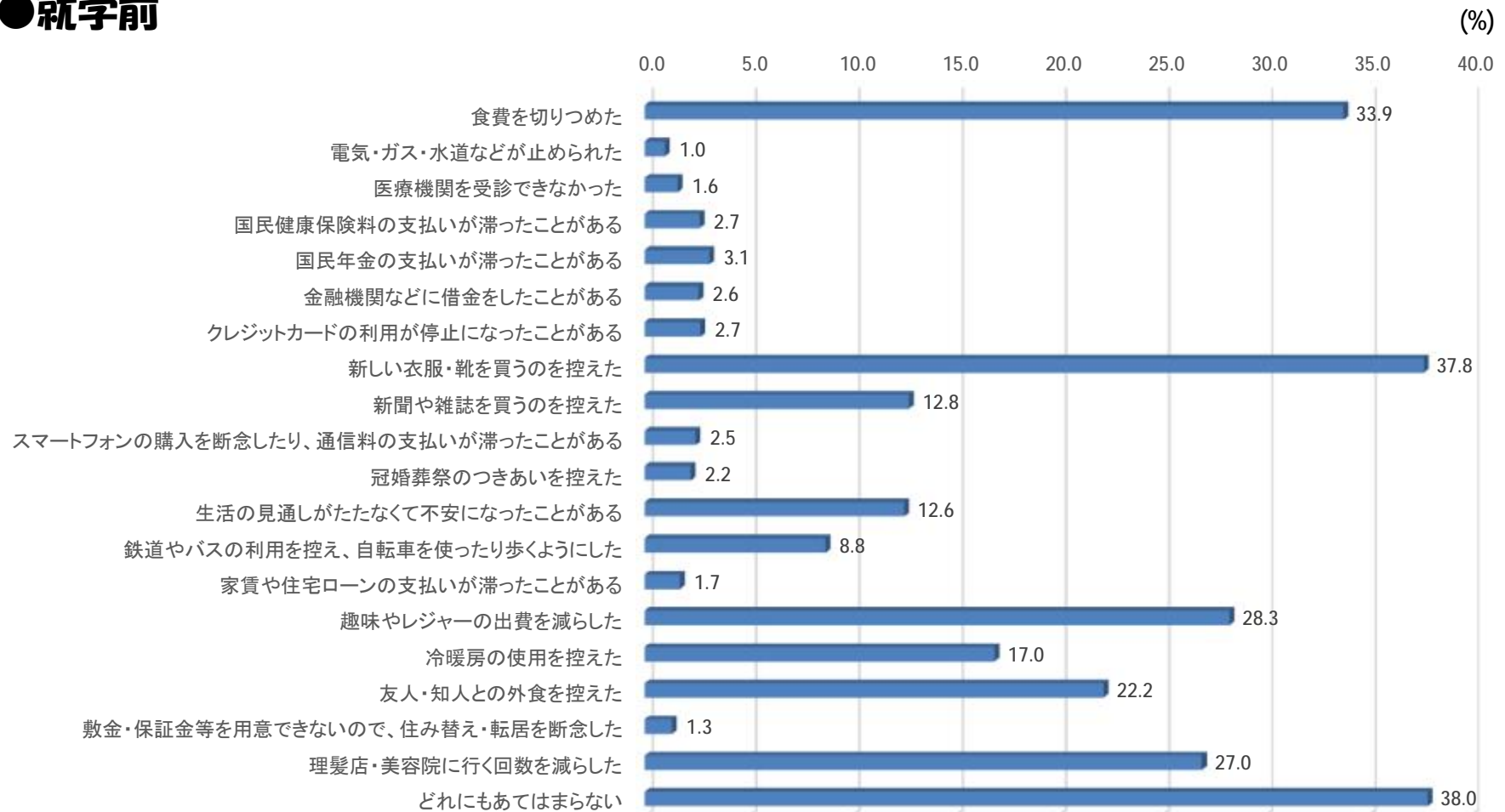
昨年1年間の収入	割合(%)	昨年1年間の収入	割合(%)
100万円未満	2.9	700-800万円未満	11.3
100-200万円未満	2.2	800-900万円未満	8.7
200-300万円未満	4.8	900-1,000万円未満	7.9
300-400万円未満	9.0	1,000-1,200万円未満	6.0
400-500万円未満	13.7	1,200-1,500万円未満	3.1
500-600万円未満	13.6	1,500万円以上	4.2
600-700万円未満	12.7		

世帯員数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人～
割合(%)	2.3	34.2	45.3	13.8	3.8	0.4	0.3

2-3 半年以内に経済的な理由で経験したこと(就学前)

● どれにもあてはまらないが最も多く、新しい衣服・靴を買うのを控えた、食費を切りつめた、趣味やレジャーの出費を減らしたが多くなっている。生活の見通しがたたず不安になったことがある割合は12.6%となっている。

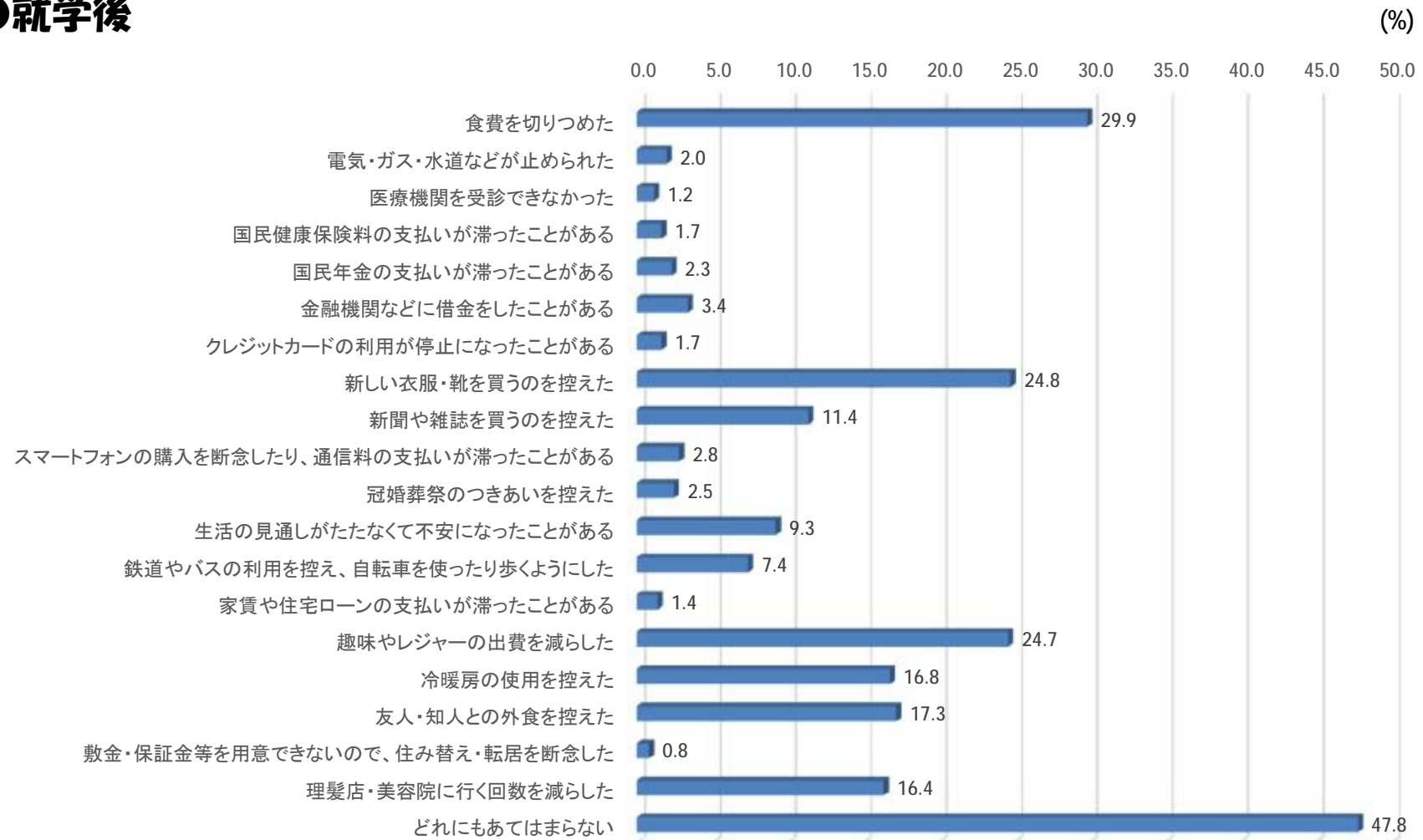
●就学前



2-4 半年以内に経済的な理由で経験したこと(就学後)

● どれにもあてはまらないが最も多く、次いで、食費を切りつめた、新しい衣服・靴を買うのを控えた、趣味やレジャーの出費を減らしたが多くなっている。生活の見通しがたたず不安になったことがある割合は9.3%となっている。

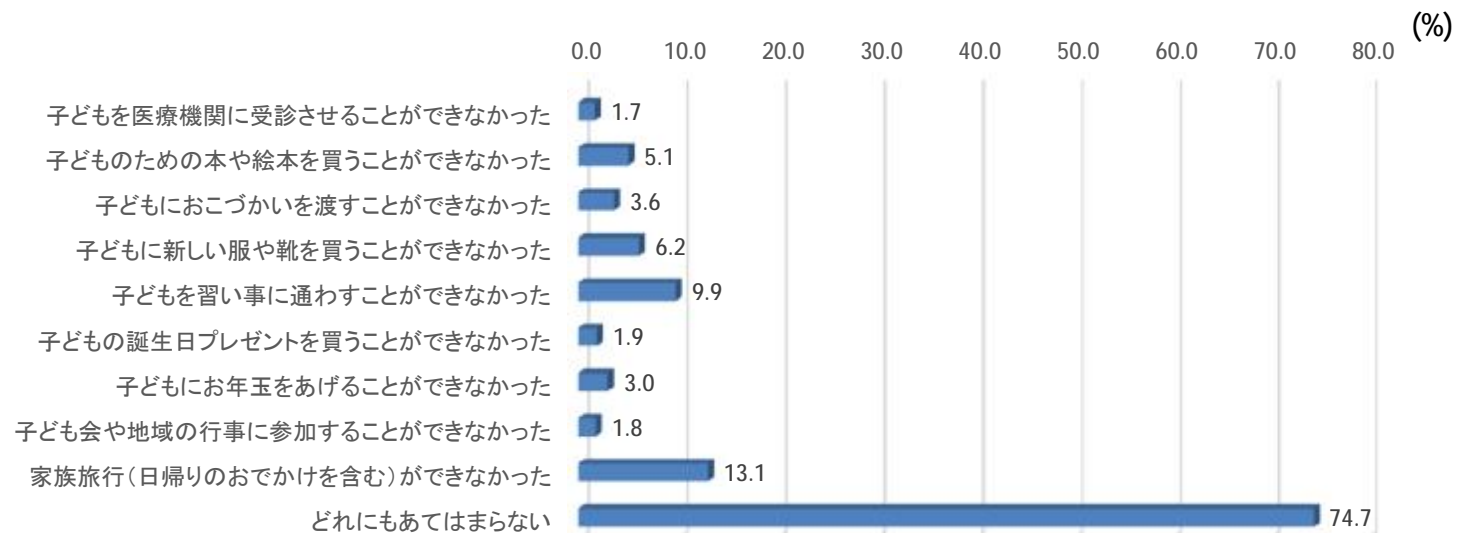
●就学後



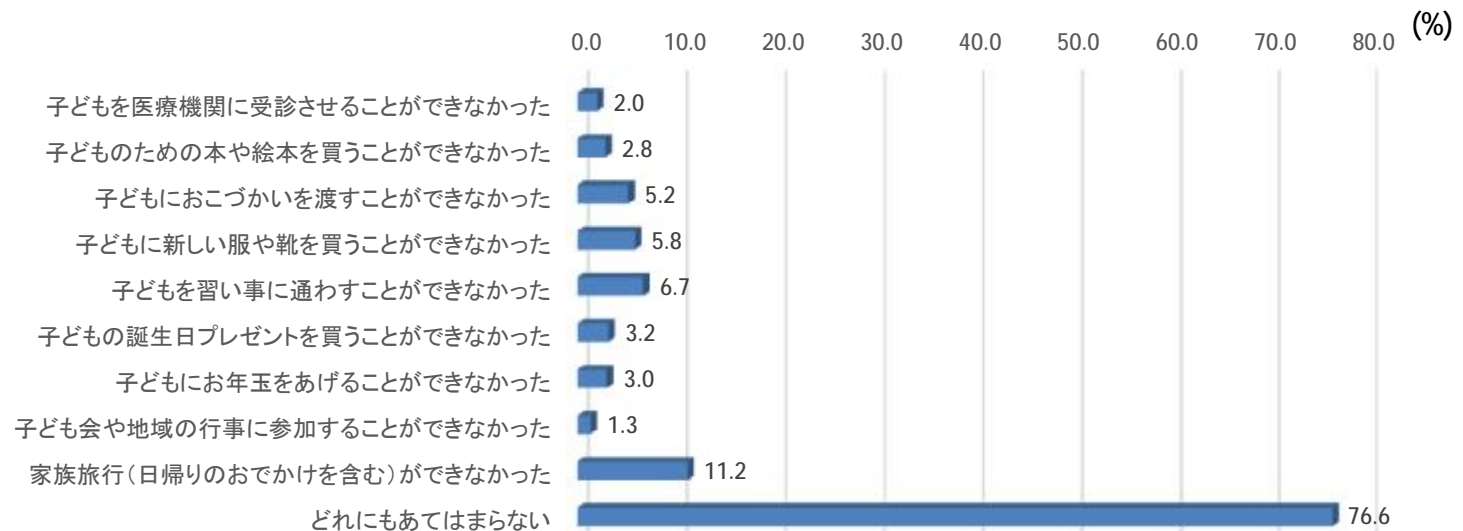
2-5 過去1年以内に経済的な理由で子どもに対してできなかったこと

● 就学前・就学後とも、家族旅行やおでかけができなかったが1割超、習い事に通わすことができなかったが1割弱となっている。

●就学前

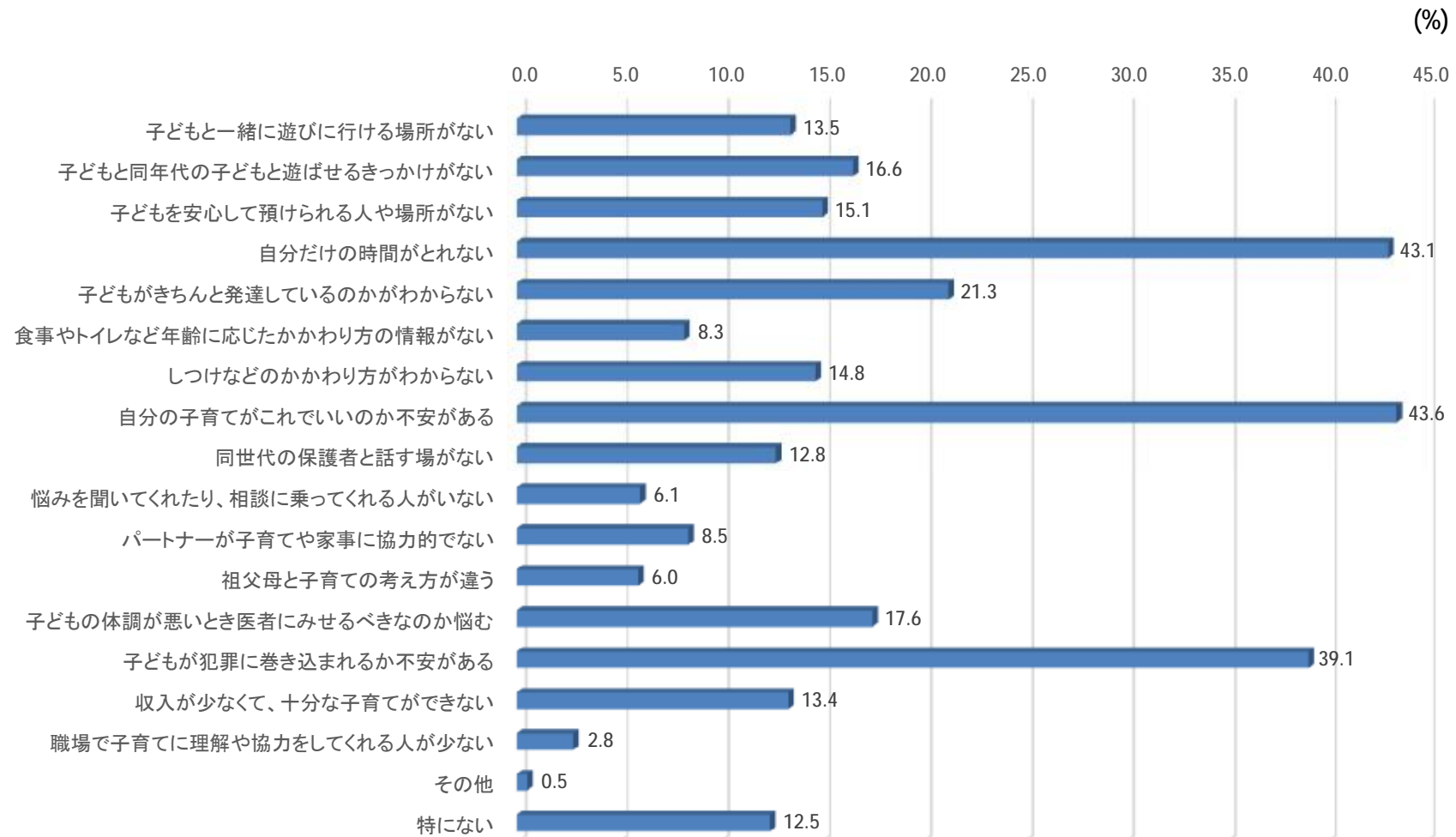


●就学後



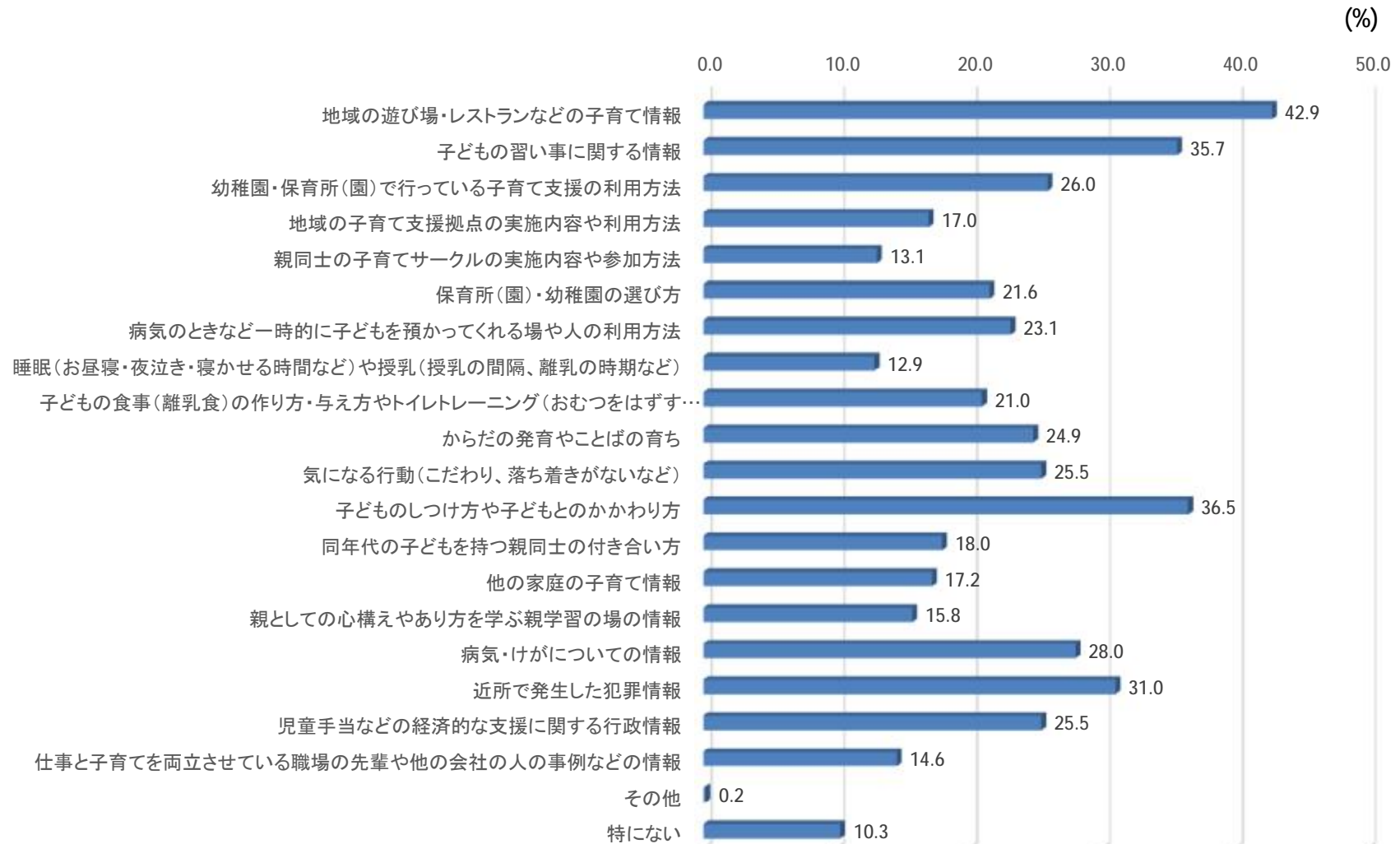
2-6 子育てをされていて困っていること(就学前)

● 収入が少なく、十分な子育てができないと回答した割合は13.4%となっている。



2-7 子育てについてほしい情報(就学前)

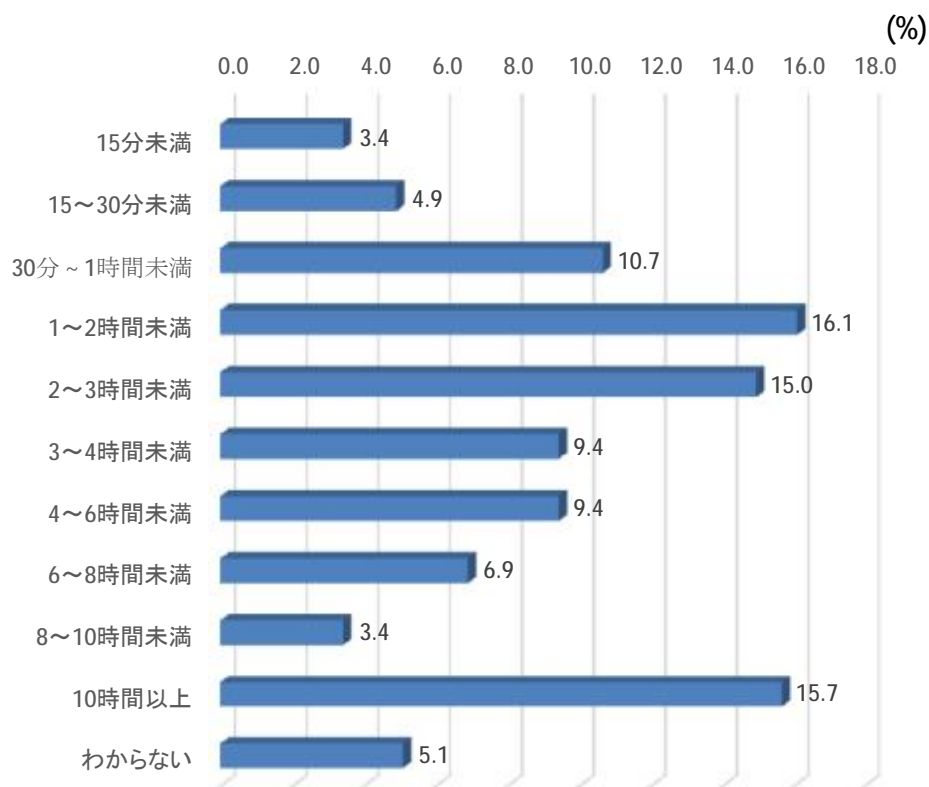
● 児童手当などの経済的な支援に関する行政情報がほしいと回答した割合は25.5%となっている。



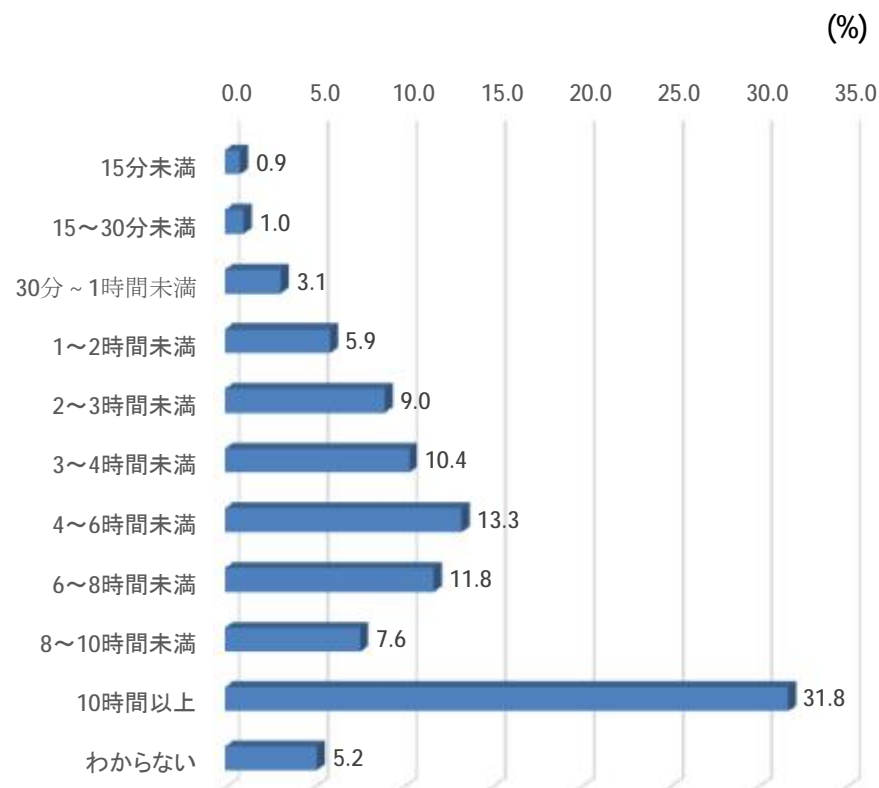
2-8 同居している大人の人が子どもと何かをしたり相手をしている時間(就学前)

● 平日は「1～2時間未満」が最も多く、次いで「10時間以上」が多い。1時間未満は約2割となっている。休日は、「10時間以上」が最も多く、1時間未満は5%となっている。

●平日

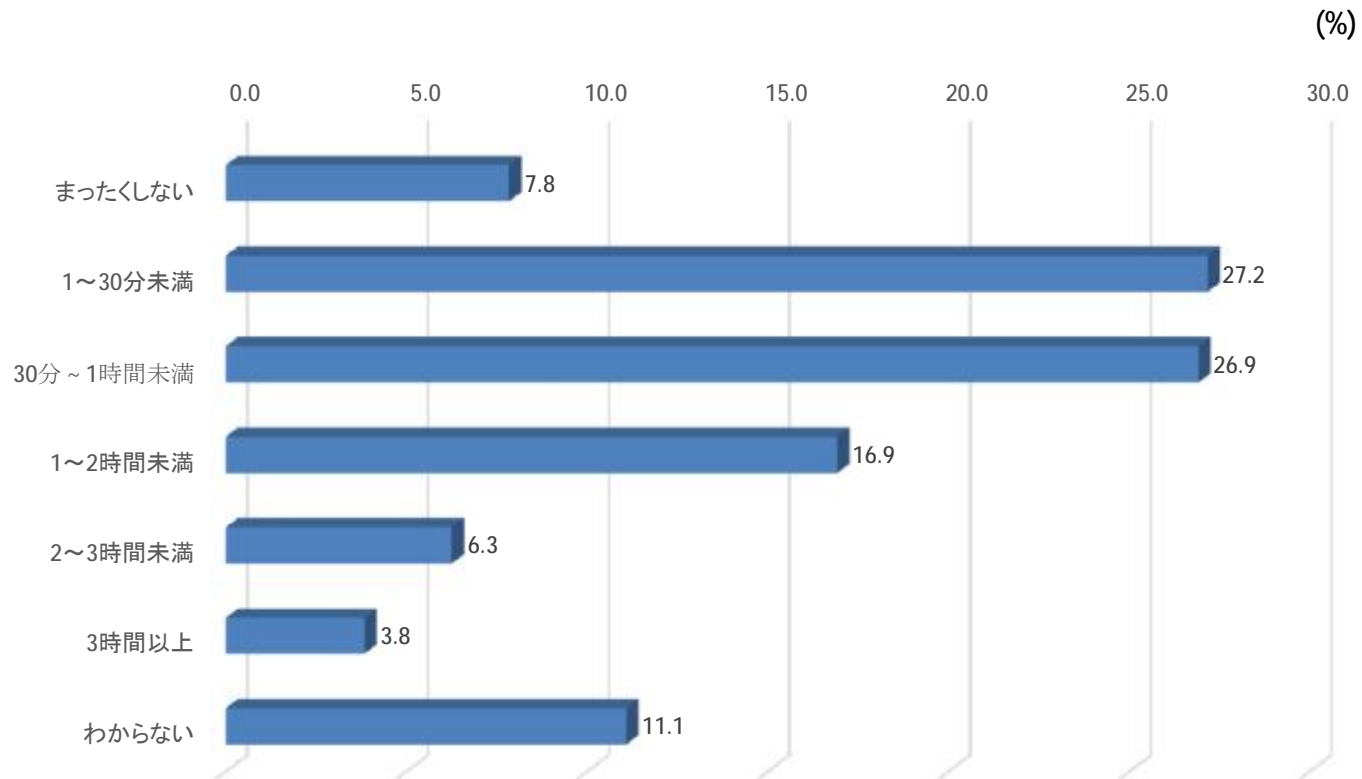


●休日



2-9 平日授業時間以外に勉強をしている時間(塾などを含む)(就学後)

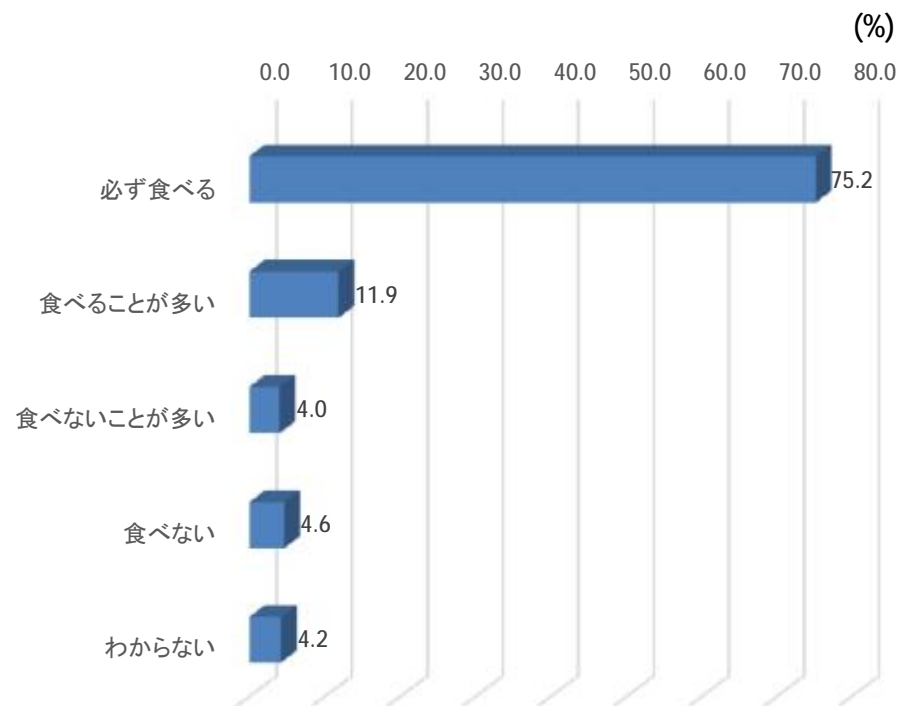
●「1～30分未満」が最も多く、次いで「30分～1時間未満」が多い。「まったくしない」は7.8%となっている。



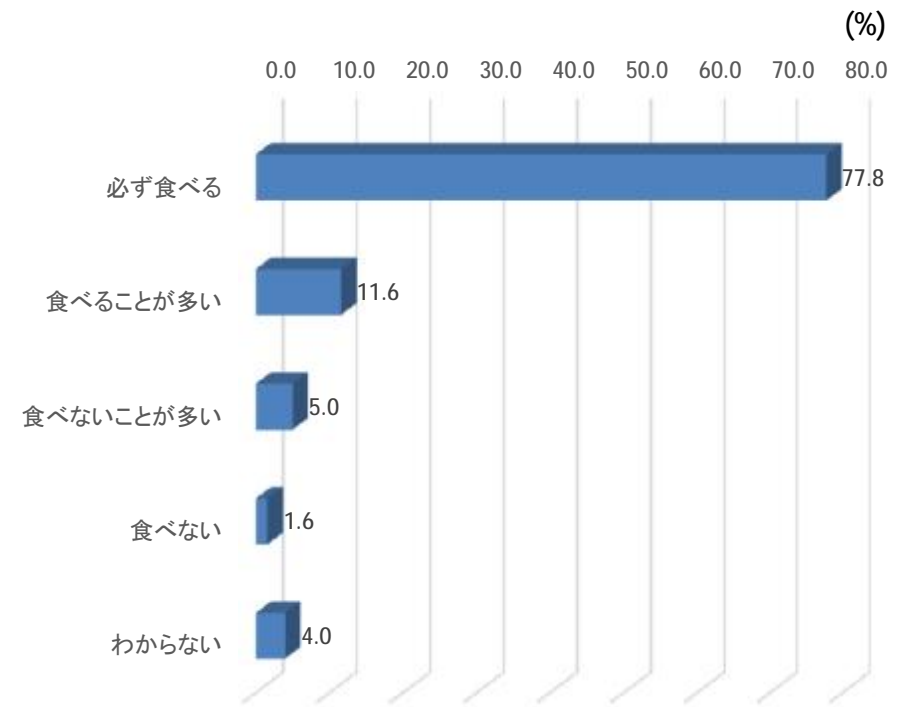
2-10 毎日朝ご飯を食べるか(就学前・就学後)

● 就学前・就学後とも、「必ず食べる」が約8割、「食べることが多い」が約12%となっている。「食べない」は就学前4.6%、就学後1.6%となっている。

●就学前



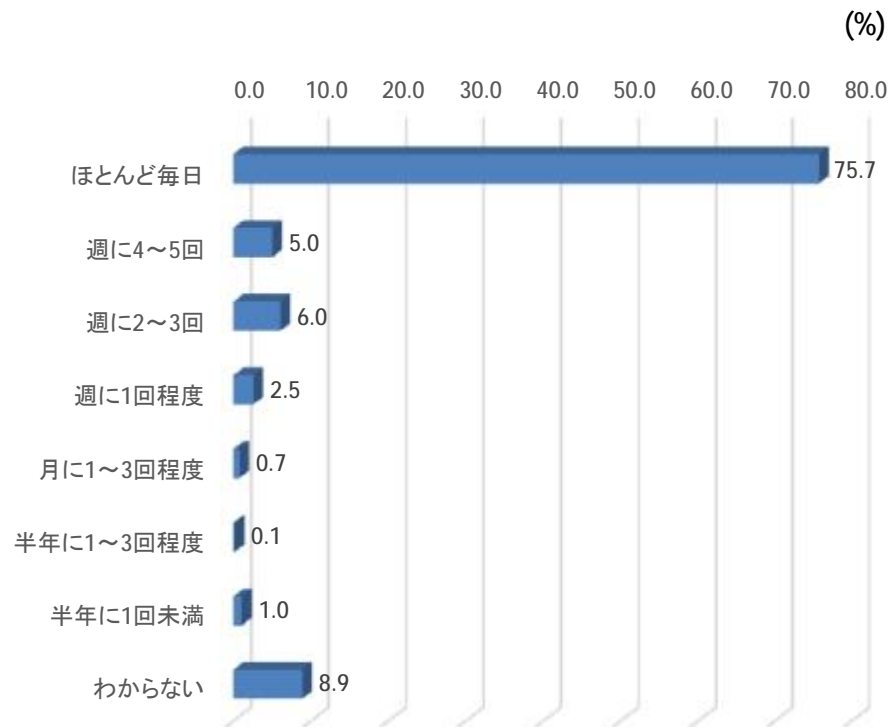
●就学後



2-11 同居している大人の人と一緒に夜ご飯を食べる頻度(就学前・就学後)

●「ほとんど毎日」が就学前75.7%、就学後67.5%となっている。週に1回以下の割合は、就学前4.3%、就学後6.0%となっている。

●就学前



●就学後

